



ちとせ新聞



新年のご挨拶

施設長 山本亮介



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、少子化の進行により労働力が不足が深刻化する中、介護業界は今後ますます厳格な状況に置かれることが予想されます。島県内の多くの介護施設では、技能実習生や特定技能などの在留資格を持つ外国人介護士が活躍しており、その数は令和六年十二月時点で三千四百人以上とされています。

今年度に入り、当法人においても、将来的な外国人雇用の見据え、制度も、国の理解を深めるとともに、施設の方々に外国人のお話を伺い、外国人研修の現場も、見学いたしました。これらを通じて、外国人雇用は労働力確保にとどまらず、施設に新たな活力をもたらす可能性があります。仕事に志し、来日される方々の姿勢は、日本人職員にとっても良い刺激となり、相互に高め合いながら、より良い介護を目指してまいります。

一方で、外国人雇用の継続には、労働環境や生活支援の充実が不可欠です。日々の配慮が欠かせません。当施設では、現時点で具体的な導入は決まっておらず、数年後を見据え、職員とともに着実な準備を進めてまいります。利用者様、ご家族様のご協力をお願い申し上げます。

心して施設をご利用いただければ幸いです。皆様にとって幸多き一年となります。新年のご挨拶といたします。



職員が皆様の歌声に合わせて
楽しく指揮を執りました♪



新年を迎え、山本施設長の年頭挨拶を行いました。式の締めは皆様と一緒に歌を歌いました。

頼りになる神主と
いつも明るい巫女です♪



一緒に写真撮ろう♪



今年も皆様が元気に過ごせますように職員一同願っております



特養では神社に見立てた赤い鳥居の前で、神主や巫女に扮した職員と一緒に初春の写真撮影を行いました。

新年互例会



2026年
1月発行

第162号

千歳園
広報委員会






養護では、クリスマスアレンジメント製作とクリスマス会を行いました。当日は多くの利用者様にご参加いただき、皆様に協力し合いながらクリスマスアレンジメントを完成させました。木花を一本挿しながら作品を作られる利用者様の表情はとても明るく、完成したアレンジメントをご覧になると、自然と笑顔がこぼれていました。「きれいいじゃね」「クリスマスらしくなったね」といった声も聞かれ、会場は終始、和やかな雰囲気の中に包まれていました。

アレンジメント製作の後には、同じ会場職員によるピアノ演奏を楽しみながら、クリスマスケーキをいただきました。優しいピアノの音色とともに味わうケーキは格別だったようで、「とても美味しかったです」と喜びの声が多く聞かれました。

笑顔と音楽に包まれた、心温まるクリスマス会となりました。今後も季節を感じていただける行事を企画し、皆様に楽しんでもいただける時間を大切にしていきたいと思います。



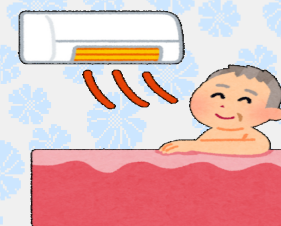
大姉
仲良



@TITOSEEN2025

フォローをよろしくお願いします♪

寒さが厳しい季節になった。季節の変わり目、節はヒートショックを起こしやすい。ヒートショックの原因は、冷え込んだトイレ・洗面台・浴室などです。極端な温度差がある場所では、危険です。トイレでは、排便時にいきおと血圧が上がって、排便後、急激に血圧が低下するため、起こりやすくなります。トイレや脱衣所にも暖房器具を置くなど対策をしましょう。



寒さが一段と増し、体調を崩しやすい季節となりました。感染症流行期に伴い、訪問ヘルパーを対象に感染症対策の研修を行っています。訪問ヘルパーは一日に複数のご利用者宅を訪問するため、職員自身が気づかぬうちにウイルスの媒介者となる可能性があります。そのため、訪問介護では「持ち込みます。そのため、訪問介護では「持ち込まない・広げない・持ち出さない」という予防意識が重要です。手洗いは感染症対策の基本です。「ケア一洗手洗いを合言葉に、ケア前後や入退室時には必ず手指衛生を行い、洗い残しに注意しながら丁寧に実施していきます。

